Science & Philosophy Café

「科学と哲学と社会」をめぐる哲学対話

日時　2015年6月7日（日）　13：30-17：00

会場　東京大学駒場キャンパス　17号館2階 KALS

要事前登録 | 入場無料 | 使用言語：日本語

科学と哲学は、かつて一体となって明確な区別はなかった。近代科学が成立すると、哲学は「基礎づけ」という後見人のような役目を果たすようになる。現代になり、科学が巨大化して人間の手に余るようになると、哲学は「批判」という監視役を演じ、対立するようになる。ではこれからの科学と哲学の関係は、どのようなものでありうるか――このワークショップでは、サイエンスコミュニケーションと哲学対話という社会と関わる実践から、もっと創造的で協力的な関係を模索する。いまだかつてない、科学と哲学のコラボレーション！

オーガナイザー

梶谷真司（UTCP　L3プロジェクト・コーディネーター）

ゲスト

高梨直紘（東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム　特任准教授）

「天文学と社会の楽しい関係」

横山広美（東京大学大学院理学系研究科　准教授）

「科学はどこまで巨大化できる？～大きな装置を使う科学の悩み」

大木聖子（慶應義塾大学 環境情報学部　准教授）

「いつか必ず起こる大地震から命を守るために～地震科学の限界を乗り越える」

＊子連れでの参加も大歓迎です（託児所はありません）

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部付属「共生のための国際哲学研究センター」（UTCP）上廣共生哲学寄付研究部門 L3 プロジェクト「Philosophy for Everyone（哲学をすべての人に）」

University of Tokyo Center for Philosophy